

平成 28 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	神石高原町立豊松小学校		
学校長氏名	住田 葉子	栄養教諭氏名	瀬尾 典子
職員数	12名	児童・生徒数	42名

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

食に関する指導の年間計画に基づき、授業計画を立て、連携をとりながら食育を進めている。

本校では、給食喫食率が高く、食べ物に興味を持ちながら意欲的に食べる児童が多い。しかし、食に関わっての自己課題をあげさせると、食事のマナーについての項目が多く、実際、給食時間の観察においても、課題を感じる。

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

中期経営目標 健康で元気な体をつくり、体力の増進を図る。

短期経営目標 望ましい生活習慣の定着を図り、進んで体力づくりに取り組もうとする子を育てる。

目標達成のための手立て「家庭生活振り返り表」を活用し、生活重点項目の振り返りをさせる。

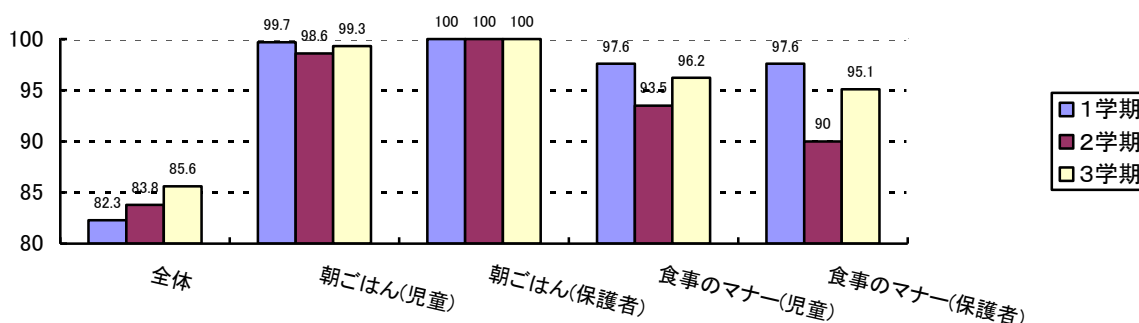
評価項目 毎学期行う生活振り返り週間での自己評価及び家族評価における達成率を80%以上にする。

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組1】（テーマ） 望ましい生活習慣の定着

生活重点項目の振り返り

- ・起きた時間、朝ごはん(食べて登校)、食事のマナー(食器を正しく持って食べる)、学習の時間、読書の時間、テレビ・ゲームの時間、寝た時刻の自己評価及び家族評価の結果を振り返った。



朝食については、6月に行った1年保護者の給食試食会の場で啓発し、食事のマナーについては2月に行った参観日で全校保護者に啓発をした。

【取組2】（テーマ） 食の自己管理能力を育てる取組

毎月、食に関わる自己課題を児童ごとに設定しその課題を解決するための手立てを決め、月末に振り返りを行った。

課題として多くの児童が設定した「食器を持って食べる」「よい姿勢で食べる」については、食事のマナーと結びつくことから、児童朝会及び保護者参観日で話題に出し、給食時間の担任や栄養教諭からの声かけ、

そして家庭での保護者からの声かけに役立てることができた。

【取組3】(テーマ) 食に関心を持って食べることができる

給食で登場する食べ物とその働き(三色の食べ物)について、毎日の給食黑板や給食放送で紹介するだけでなく、その月に登場する食べ物についても掲示資料を作成して指導に活用した。

4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

学期に1回実施をしている「神石高原ランチ」をひろしま給食と一緒にいった。

タコタコライスでは町内産の豚肉、にんにく、たまねぎ、キャベツ、トマト、トマトケチャップを使用した。トマトの農家や選果場を取材し掲示資料や放送資料を作成し、配膳図とともに町内小中学校に配布した。

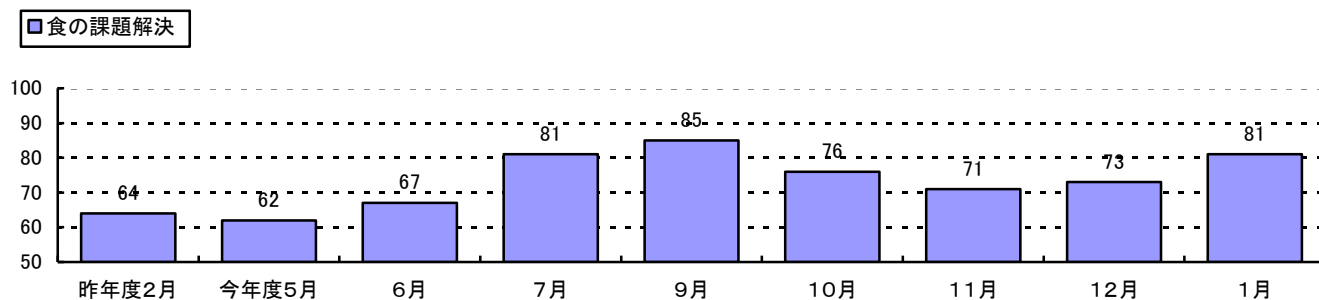
夏季休業中に、町内の小中学校保護者や学校給食業務者と一緒にひろしま給食5品の調理実習・試食・意見交流を行い、家庭や調理施設で、ひろしま給食の調理が行われるように取組んだ。

10月にはひろしま給食5品を給食で提供し、家庭での調理を呼びかけた。

5 取組に対する成果と課題

【成果】

食に関わる自己課題を解決するための手立てを決め、月末に振り返り、できた児童が、80%以上となった。毎月、担任がその課題についてそれぞれの児童に声かけをし、意識させながら達成することができた。



【課題】

食事のマナーでは、食器と箸の置き方は定着できているが、その持ち方については定着とまではいかず、課題として引き続き担任、保護者と連携をして取り組む。

6 今後の取組に向けた改善方策について

参観日等を利用して、保護者に啓発する機会を大切にする。保護者と共に食育を推進する。